年間授業計画　新様式例

高等学校　令和６年度（2学年用）　教科　　芸術　　科目　書道Ⅱ

教　科：　芸術　　科　目：　書道Ⅱ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　　書道選択者

教科担当者：田村　歩美

使用教科書：（　書道Ⅱ　教育出版　　）

教科　芸術　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】楷・行書（篆・隷・草書、仮名）作品についての知識を理解し、執筆法を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】古典作品から得た知識、技能をさらに深め、工夫しながら臨書、創作活動をし、創作作品を制作する。

【学びに向かう力、人間性等】活動前に課題について確認し、作品を完成させる。臨書や創作活動に主体的に取り組むようにする。

科目　書道Ⅱ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
漢字、仮名、仮名交じりの書の作品を通して歴史的背景など知識を理解し、作品の技法考察から執筆法を身につける。	古典作品から得た知識、技能をさらに深め、工夫しながら臨書、創作活動をし、創作作品を制作する。	活動前に課題について確認し、作品を完成させる。臨書や創作活動に主体的に取り組むようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			漢仮	漢	仮						
1学期	古典作品を通して楷書作品の特徴を理解し、技法の習得とともに、作品を制作する。	基本的な楷書作品から特徴的な作品、技法的に難しい作品を実技練習し、作品を完成させる。		○		○	古典作品の歴史的背景を理解しているか。作品技法を習得できているか。課題に対しねばり強く克服に取り組んでいるか。	○	○	○	8
	篆書の臨書　「石鼓文」 隷書の臨書　「乙瑛碑」　篆書と隷書で作品を書く	篆書の臨書　「石鼓文」 隷書の臨書　「乙瑛碑」　篆書と隷書で作品を書く		○		○	古典作品の歴史的背景を理解しているか。作品技法を習得できているか。課題に対しねばり強く克服に取り組んでいるか。	○	○	○	8
	篆書の臨書　「石鼓文」 隷書の臨書　「乙瑛碑」　篆書と隷書で作品を書く	篆書の臨書　「石鼓文」 隷書の臨書　「乙瑛碑」　篆書と隷書で作品を書く		○		○	古典作品の歴史的背景を理解しているか。作品技法を習得できているか。課題に対しねばり強く克服に取り組んでいるか。	○	○	○	5
	篆書の臨書　「石鼓文」 隷書の臨書　「乙瑛碑」　篆書と隷書で作品を書く	篆書の臨書　「石鼓文」 隷書の臨書　「乙瑛碑」　篆書と隷書で作品を書く		○		○	古典作品の歴史的背景を理解しているか。作品技法を習得できているか。課題に対しねばり強く克服に取り組んでいるか。	○	○	○	5
2学期	仮名の書の臨書 「高野切第一種」 「関戸本古今和歌集」「本阿弥切本古今和歌集」	仮名の書の臨書 「高野切第一種」 「関戸本古今和歌集」「本阿弥切本古今和歌集」		○		○	古典作品の歴史的背景を理解しているか。作品技法を習得できているか。課題に対しねばり強く克服に取り組んでいるか。	○	○	○	16
	仮名の書の臨書 「高野切第一種」 「関戸本古今和歌集」「本阿弥切本古今和歌集」	仮名の書の臨書 「高野切第一種」 「関戸本古今和歌集」「本阿弥切本古今和歌集」			○	○	古典作品の歴史的背景を理解しているか。作品技法を習得できているか。課題に対しねばり強く克服に取り組んでいるか。	○	○	○	14
3学期	篆刻、刻字に親しむ 印の多彩な表現を楽しむ 姓名印を刻む	さまざまな漢字仮名交じり作品を参考にし、特徴的な作品、技法的に難しい作品を実技練習し、作品に取り組む。	○			○	古典作品の歴史的背景を理解しているか。作品技法を習得できているか。課題に対しねばり強く克服に取り組んでいるか。	○	○	○	8
	篆刻、刻字に親しむ 印の多彩な表現を楽しむ 姓名印を刻む	計画案を作成し、計画に従い創作作品を完成させる。	○	○	○		活動する前に確認した課題について克服し、作品の完成に結びつけているか。活動中の取り組む姿勢はどうだったか。	○	○	○	6
											合計 70